



俳句

玉井北男 選

どことなう母のぬくもり石路の花 川原利代
 立冬や裸田はだかたつつく鳩の群れ 岡田久夫
 大岩のかげより出でし石路の花 菅 博武
 当てもなく空に旅立つ草の絮 高橋和子
 刈り終えて今日は落穂を拾ひ来ぬ 青野義明
 遠住める孫の合格秋高し 三谷福美
 沈黙の湖水波立つ夕時雨 中尾明代
 蟻螂のうたがひ深く枯れにけり 西山ハズミ

川柳

山之内さら枝 選

手の先と足の冷えから冬に入る 宮地スズエ
 クラス会幼き顔の見えかくれ 三谷福美
 決断が遅くて波に乗りきれぬ 木原ケイ子
 厳しきの裏に隠れた深い愛 藤田博子
 シリアスな発言背なで受け止める 藤原真佐美
 生きて来た答えは後でついて来る 近藤和子
 何よりの答え笑顔が持つて来る 越智ユリ子
 紅一点話の好きな女王蜂 伊藤幸美

短歌

岡田 弘 選

面映ゆき心地しながら人力車に夫と並びて古
 都の街ゆく 相原サツキ
 生前の息子が贈りくれし保健食そのやさしき
 を涙して飲む 伊藤 操
 ネクタイをきりりと結ぶかの如く四十雀は山
 茶花の下 伊賀和子
 三年病む耳鳴りが今朝はふと止みて嬉しや鳥
 のさえずり聞こゆ 木原ツイ子
 生け垣の山茶花咲きて花屏風新しき年祝ふが
 如し 藤崎 泉
 行燈あんどんに貼る紙染めむと玉葱の皮を煮てをり冷
 ゆる夕べを 森田 薫
 木漏れ日の林道抜けて山里は閑散として人影
 を見ず 山田和一
 秋たけて茜の空に夕日落ち吹く寒風に枯芒舞
 ふ 矢野シヅエ

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品(俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください)・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先

〒793-8601 明屋敷164
 市庁舎本館 総務課 広報情報係
 TEL 0897-52-1204 (直通)

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No. 33 カナダから日本へのラブレター



▲外国語指導助手
 テリー・フィデラック さん

私が初めて来日してから1年と4カ月が経ちました。試練も苦労もたくさんありましたが、幸せな思い出が圧倒的に多いです。日本に住むことができたのは私にとって幸福であり、次のことが日本でもっとも好きな3つです。

①【苔】幸運なことに、最近高野山へ行くことができました。

間違いなく日本を旅行した中で一番好きな所でした。何が一番素敵だったかということ、高野山では柔らかい苔が緑の着物のように広がっていたことです。日本では、苔が森や竹林の息づかいのように生えていて、自然の少ない町でもよく目にします。苔は素晴らしい、美しい物だと思います。

②【柿畑】自転車で通勤しているため、日常生活でいろんな見所を発見します。柿がいっぱい熟しているのを見ると、いつも心が打たれます。柿の木は枯れているように見えても、陽気で明るいオレンジ色に彩られている実を目にすると、人生を精一杯生きていこうと励まされます。

③【山】私はもともと草原育ちです。出身地であるカナダは、広くて開放的な空と、果てしない平らな大地とで成っています。西条で山の近くに住み始めた時は、たまに閉所恐怖を感じましたが、今では山と一緒に生きていくことがすごく好きになりました。山は閉鎖的な所ではなく、常に変化し、私たちがより高い所をめざして成長するようにと教えてくれるのです。

日本の好きなところを挙げるときりがありませんが、これらの自然は特に日本での生活を支えてくれ、また日常の素晴らしさを感じさせてくれます。私の地元となった西条が自然の美しさに恵まれているので、毎日そう思えるのです。

<訳：国際交流員ケイレブ>